

明るい選挙啓発授業展開例（授業参観型）

1 目標

- ・講義やクイズを通して、選挙の意義やしくみを知る。
- ・親子で投票所に行くことの意義を知る。
- ・親子一緒に体験活動（模擬投票）を通して、選挙投票について関心を高める。
- ・投票方法の流れと投票する時に気をつけることを理解する。
- ・授業終了後、「宿題用ワークシート」を配布し、家庭で選挙について話すきっかけをつくる。

2 展開例（45分の場合）

	学習活動	備 考	担 当
導入 5分	1 あいさつ 2 クイズ 3 学習課題の確認	・あいさつ後、自己紹介あり ・クイズを通じて授業への関心を高める。	選管担当者
講義 15分	4 政治のはたらきと選挙 5 なぜ「代表者」を選ぶのか 6 選挙クイズ 7 選挙の意義 7 親子連れ投票の意義	・選挙にかかる費用、日本、海外の選挙制度について触れる。 ・総務省作成のチラシを配布・説明	
模擬投票 15分	8 導入 ・代表者を選ぶときの考え方について ・投票所でやってはいけないこと 9 親子で模擬投票 ・親子で投票する人を決める。 ・投票が終わり次第、教室へ戻り選挙クイズに参加する。 10 開票作業を実施し投票結果を知る。	・模擬投票は、架空の選挙公報を使い、市町村選管が中心となって進行する。 ・担任は児童生徒の誘導を行う。 ・全員が投票を終えるまで選挙クイズを実施する。 ・市町村選管等が開票作業を実演する。 ・投票結果は児童生徒代表者が発表する。	市町村選管担当者 (選管準備物) ・投票所入場券 ・投票用紙 ・記載台 ・投票箱 (その他) ・受付〇名 ・投票立会人〇名 ・開票作業〇名
まとめ 10分	11 まとめ 12 アンケートに記入し、感想を発表しあい活動を振り返る。 13 宿題用ワークシートを配布	・児童生徒の投票態度について評価する。 ・投票率低下、国民の権利等に触れながら一票の重要性について考えさせる。 ・時間不足の場合、感想から記入させる。 ・活動を振り返らせながら、投票への関心の高まり及び投票方法の理解の度合いについて確認する。 ・家庭で選挙について話すきっかけを作るため、親子での話し合いを必要とするワークシート（アンケート）を配布する。	選管担当者 担任 ・アンケート用紙の回収